教育目標 「 知性豊かに 心さわやか たくましく生きる 」

志 学校だより

R4 .6 .23

四日市市立内部中学校　第 12 号

己を鼓舞せよ



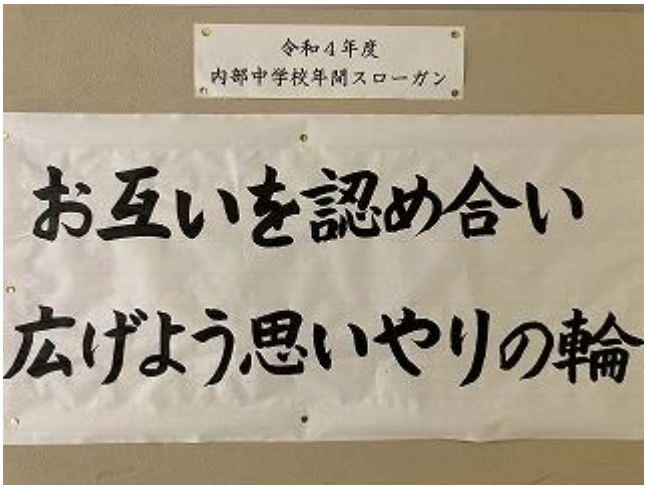
先日、ある講演会にて講師の方よりみだしの言葉を教えていただきました。お恥ずかしい限りですが、この言葉がマンガや映画で大ヒットしている『鬼滅の刃』に出てくる言葉であることを知りませんでした。主人公である竈門炭治郎は、鬼と戦う際に、次のような言葉を発します。**「真っ直ぐに前を向け‼　己を鼓舞しろ‼　頑張れ炭治郎頑張れ‼　俺は今までよくやってきた‼　俺はできる奴だ‼　そして今日も‼　これからも‼　折れていても‼　俺が挫けることは絶対に無い‼」**これらの言葉には、主人公炭治郎の自分を認める力、自分を信じる強さが表れており、自己効力感の高さが見られます。通常、他者から褒めたり信じてもらえたりすることで、肯定感や効力感を高めることが多いですが、**そうした言葉を日頃から自分自身に言い聞かせることで、困難な場面に遭遇した際に、他者に頼らなくても自分を高めて、乗り越えていくことが可能となります。**



また、「頑張れ」は人から言われるとプレッシャーとなることがありますが、自分で自分に言い聞かせるからこそ「鼓舞」することにつながります。心理学的には「自己成就的予言」になります。「自己成就的予言」とは、「自分は○○となる」と思って行動していると、実際にその通りの結果になることです。炭治郎のように、自分を認める言葉を自分にかけてあげることで、苦しい状況や困難な状況を打開していくきっかけが、つかめていけることでしょう。

更に講演会では、『自分の夢をかなえるために』といったお話も聞かせていただきました。夢もまた、他者から言われて定めるものではなく、自分の本当にやりたいことを見定めることが大切であること、そして芯が強く、少々のことではへこたれない人になることが必要だと話されていました。なるほどと思いましたが、「芯の強い人」や「へこたれない人」になることは、そんなに簡単なことでも、すぐにできることでもありません。毎日の様々な経験を積み重ねる中で、少しずつで良いので、「自分の意思を明確にする」、「つらい気持ちをいなせるようにする」、「あきらめずに粘り強く取り組めるようにする」、「見通しを持って目標達成に向けて取り組む」、といったことができるように心がけることが重要です。失敗することも良い経験の一つですから、ネガティブに受け止めるだけでなく、自身の成長につなげられると良いです。

年間スローガン



先週、昇降口を入ってすぐの掲示板に、右のようなスローガンが貼られました。**このスローガンは、生徒たちからアンケートで意見を集め、生徒会執行部と前期代議員が協議して、決定してくれました。**１年間を通して大切にすることはもちろんですが、『体育祭』や『文化祭』といった大きな行事においては、このスローガンを軸に取り組みを進めていきます。

本校の『学校づくりビジョン』にある、【めざす生徒の姿】に、**「お互いを大切にする生徒」**とあります。また、【重点的な取組】には、**「ひとりひとりを認め、生徒とともに歩む教職員集団をめざします。」**と位置づけてあります。これらとスローガンは密接に関係し合っています。

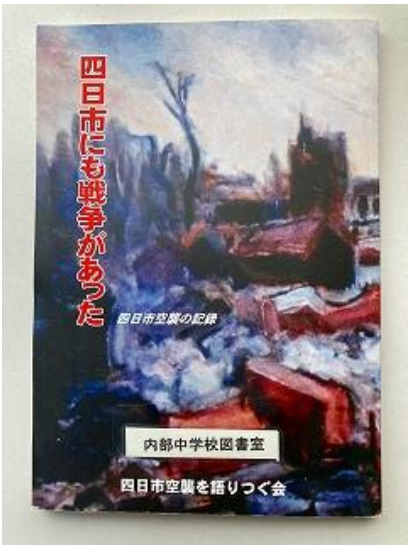
また、目標やスローガンになっていなくても、**「お互いを認め合う」**ことや。**「思いやりの輪を広げていく」**ことはとても大切なことで、社会生活を営む上での基本であるとも言えます。

更に、私からも機会があるごとに**「慮る（思いやる）」気持ちを大切にして欲しい」**と呼び掛けていますので、とても素晴らしいスローガンになったと思っています。行事等の時だけでなく、常日頃からこのスローガンにある言葉を心がけて、学校生活を送って欲しいと思います。

掲示物は、生徒会長の稲垣みなみさんが丁寧に書いてくれました。本当にありがとう。

平和について

７７年前の６月１８日に『四日市空襲』があり、四日市市内の広域が焼き尽くされました。この事実は、新聞等でも紹介されていましたので、読んで知っている人も多いと思います。



東京や名古屋といった主要都市から、中小郡市へ米軍の攻撃対象が拡大した際に、四日市市は浜松市や鹿児島市などとともに、最初の目標となりました。沿岸部の海軍燃料廠が主な攻撃目標となり、５６７トンもの焼夷弾が投下されました。市内の３５％にあたる約３．１８平方キロが消失し、４万７１３５人が被災、７３６人もの人が亡くなりました。

当時のことを知っている人がだんだんと少なくなり、**『四日市空襲』を知らないと言う人は、逆に増えています。**直接お話を聞いたり、左記のような本を読んだりして、この事実を後に伝え、風化しないようにすることがとても大切です。

世界の情勢を見ると、ウクライナとロシアが戦争をしています。多くの犠牲者が出ています、悲しくつらく大変な思いをしている人も大勢います。

誰もが「戦争はない方がいい」と思っていると思いますし、『平和』を望んでいることでしょう。重要なことは、『戦争』を他人ごとだと思わないで、「どうしたらなくせるか」「どうしたら起こらないようにできるか」を考えることはもちろんですが、**「どのようなことなら取り組めるか」を具体的に考え、実際に行動することです。**できることから始めたいものです。